

理事会議事録

開催日時	令和 7 年 1 1 月 2 7 日 午後 1 8 時 3 0 分			
開催場所	後楽鹿島ビル 6 階 JBA 会議室			
出席理事	1 5 （理事総数 1 9 名）			
	代表理事	橋本 信雄	針生 淳男	
	理 事	田中 武夫	渡辺 篤	吉田 明子
		森田 優	馬場香保里	内野小百合
		武井 貴	福島 正明	中村健太郎
		小幡 彩華		市川 数馬
出席委員長	1 1	俵川 高明	川村 明彦	鈴木 伸之
		北村 麻衣	星川 精豪	高山 和徳
		青柳 彰	品田 奥義	伊藤 恒
出席監事	1 名（監事総数 2 名）			
		三澤 裕		
法務アドバイザー		林 圭介		

議 題

一、 決議事項

第 1 号議案	2026-2027 年度 会長候補者選考委員会 委員承認の件
第 2 号議案	事務職員 テレワーク就業規則（在宅勤務規程）承認の件
第 3 号議案	令和 7 年度東京都日本公認 B 級審査会判定結果承認の件
第 4 号議案	東京 2025 デフリンピックバスケットボール女子金メダル 東京都所属選手特別表彰の件

一、 報告事項

第 1 号報告	専務理事報告 ・ 理事退任手続きについて ・ 橋本会長 日本トップリーグ連携機構「2024／2025 シーズン特別功労賞」 受賞について ・ 四半期決算状況について ・ 2026 年度事業計画・予算の提出依頼について ・ JBA インテグリティ案件報告 ・ インテグリティ委員会での対応明確化案と委員会構成案について ・ 2026 年秋季大会開催可否の第 1 回検討会実施について ・ デフリンピックへのご対応御礼
第 2 号報告	各委員会報告
第 3 号報告	各連盟報告

議事の経過の要領及びその結果

定款の規定により橋本会長に代わり森田常務理事が議長となり、本日の出席理事数を上記の通り報告し、法令及び定款に定める定足数を満たしているので本理事会は適法に成立した旨を述べ、開会を宣し、直ちに議事に入る。

一、決議事項

第1号議案 2026-2027 年度 会長候補者選考委員会 委員承認の件 【資料1】

議長は、本議案を上程し、2026-2027 年度会長候補者選考委員会委員承認の件について審議承認を求めた。

針生専務理事より、資料1に基づき詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

▶会長候補者選考委員 5名

- ・社員 土田忠男氏
- ・理事 針生淳男氏 西山貴広氏 内野小百合氏
- ・有識者 林圭介氏

※資料訂正 林圭介氏 Wリーグ理事 ➡ Wリーグ監事

第2号議案 事務職員 テレワーク就業規則（在宅勤務規程）承認の件 【資料2】

議長は、本議案を上程し、事務職員 テレワーク就業規則（在宅勤務規程）承認の件について審議承認を求めた。

針生専務理事より、資料2に基づき詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

▷島田 規程内の協会明記を会社へ変更をお願いする。また、所属長とはどなたを指すのか。

▶明記変更について了承した。所属長は専務理事（代行事務局長）である。

第3号議案 令和7年度東京都日本公認B級審査会判定結果承認の件 【資料3】

議長は、本議案を上程し、令和7年度東京都日本公認B級審査会判定結果承認の件について審議承認を求めた。

針生専務理事より、資料3に基づき詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

第4号議案 東京2025デフリンピックバスケットボール女子金メダル東京都所属選手特別表彰の件

議長は、本議案を上程し、東京2025デフリンピックバスケットボール女子金メダル東京都所属選手特別表彰の件について審議承認を求めた。

針生専務理事より、経緯ならびに現時点では対象者確認中であり、この場では今後精査を進める前提で承認を頂きたい旨説明があった後、議長は、表彰は条件を精査したうえでとし、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

▷川村 4名が東京都所属チームに選手として登録していると確認している

▷橋本 あくまでも東京都所属チームに在籍している選手が対象

一、報告事項

第1号報告 専務理事報告

専務理事より下記議題沿って報告があった。

■理事退任手続きについて

- ▶ご逝去された森茂常務理事の法務局への登記（退任手続）が11月10日に完了した。

なお、残任期間は理事19名とし、新たな理事の選任は行わない。

■橋本会長 日本トップリーグ連携機構「2024／2025 シーズン特別功労賞」受賞について

- ▶橋本会長が12月15日に2024／2025 シーズン特別功労賞を受賞について報告された。

■四半期決算状況について 【資料4】 ■2026 年度事業計画・予算の提出依頼について

- ▶2回目の監査時に資料が完成しておらず、監査ができなかった。12月に会計を締め、1月に第3回監査を予定している。

資料4の第1回・第2回は実績値、第3回、第4回は予算ベースの仮説で数字を入力している。

予算に関しては、四半期決算状況報告で説明の通り、予実管理を参考に、第3回、第4回の今年度予算の消化見込を把握の上で作成いただきたい。次年度の事業計画・予算提出については後日事務局を通じて依頼をさせていただく。

- ▷三澤 2年連続赤字決算を経て予算管理がシビアになっている。予算管理を徹底したい考えから四半期決算を提案した。

次年度予算策定期間となるが、今年度の決算の見通しを立てた上での予算検討をお願いしたい。

なお、監事は中間決算を行う予定である。

- ▶支出は実績値と予算値を入力するとすでに支出が超えている科目がある。支出が収入を超えている科目については、見込数値に誤りがあれば訂正し、予算値内に収まるかを確認、予算値を超えるのであれば、減らす努力を求めるが、一報で予算を上回る予定であるという報告をお願いする。
- ▶今後懸念されることは、大会参加者見込の増減で、減少方向である。更には登録者数も微減となり、長期的視点として、収入が減少することを念頭に置いて予算編成ならびに活動を決定していかなければならない。

■JBA インテグリティ案件報告

- ▶裁定規律案件はライセンス C 級以上が JBA、ライセンス D 級以下が PBA で区分けされている。

今回 JBA 管轄案件として1件、東京都 C 級コーチが2年間の資格停止処分ならびに更生プログラム実施と重い処分がくだった。

- ▶ライセンス D 級以下ならびに東京都へ通報された案件の内、直近の3件に関して、調査の結果、裁定委員会への付託はしない判断とした。

- ▶秋季選手権大会において、出場チームによる試合終了後の審判に対する侮辱発言が確認された事象があった。関係者よりレポートの提出があり、現在、当該チームのヒアリングを開始した。

■インテグリティ委員会での対応明確化案と委員会構成案について 【資料16】

- ▶昨今のインテグリティに関する通報に対して、体制の見直しを検討し、品田インテグリティ委員長へ通報があった際のフローのたたき台を作成いただいた。これにより効率化を目指したい。

- ▷品田 現状を踏まえフローを作成した。インテグリティ委員会はヒアリングは行うが処罰を決定する委員会ではない。これまで対応した事案を振り返ると、該当カテゴリー内で細やかな情報共有が

できれば、その段階で決着が付くような事案があり、今後もできるだけその方向で進めていくことが望ましく、その為に、各カテゴリー内に担当委員会の設置を検討している。（必ずしも常設である必要はない）

今後、みなさんの意見を聞きながら詰めていきたい。

■2026 年秋季大会開催可否の第 1 回検討会実施について

3 月理事会までに結論を出し、次年度事業計画へ反映できるよう進める。第 1 回は 12 月 3 日に競技会委員会として実施を予定している。

■デフリンピックへのご対応御礼

当協会は TO・フロアワイパーを受託し、吉田副会長、森田常務理事、河野理事を中心に派遣者を取り纏めいただいた。また、JBA が仲介していた審判に関しても橋本会長が JBA 依頼によりデフリンピック審判委員長へ就任されたことにより、平原委員長に調整をいただいた。

第 2 号報告 各委員会報告

1) 総務委員会 (武井委員長)

▶年間表彰推薦依頼を事務局より通知する。

2) 広報委員会 (俵川委員長)

▶ホームページ作業として、天皇杯・皇后杯ファーストラウンド、U15 選手権結果のアップロードを行った。

▶新サイトでは仕様変更に伴い、今後精査しながらアップロード形式を変えていく予定である。

3) 競技委員会 (川村委員長) 【資料 5】

▶資料に基づき、秋季選手権大会結果について報告があった。

▷三澤 没収試合が非常に目立つ印象があるが、特殊な事例があるのか。

▶主な理由として、他カテゴリーの全国大会と日程が重なった、インフルエンザ、大学授業と重なった等が挙げられる。

▷三澤 当該チームには過去にも大会ブッキングによる棄権をしているチームがおり、モラルにかけられる行為である。当該連盟には何らかの措置を検討いただきたい。

▷島田 内容を精査のうえ、検討する。

▶ブッキングについては、今回の秋季選手権大会申込時には全国大会の出場は決定していない状況であったことは確認をしている。

▷福島 女子決勝結果の点数に間違いがある為、至急訂正をお願いする。

4) 強化育成委員会(強化部) (鈴木委員長) 【資料 7】

▶資料に基づき、国民スポーツ大会組み合わせについて報告があった。

成年男子が 9 年ぶり 4 度目の優勝、少年男子がベスト 16

5) 強化育成委員会(育成部) (芦川 DC 長) 【資料 8】

▶資料に基づき、選考済みの都育成選手 (U12、U15、U16) ならびに育成活動詳細について報告があった。

6) 指導者養成委員会 (北村委員長) 【資料 9】

▶ 8 月に D 級養成講習会 (第 2 回)、9 月に C 級養成講習会 (第 2 回)、10 月にキッズサポーター講習会を実施、今後は 12 月に D 級 (3 回目)、1 月以降に女性コーチカンファレンス、勉

強会の開催を予定。

- ▶資料に基づき、2025 年度選手育成指導者表彰推薦依頼について報告があった。

JBA 提出は 2 月 1 日。推薦者がいれば年内中に一度連絡をいただきたい。

7) 医科学委員会 (星川委員長)

- ▶次年度予算を確保してバスケット実現を目指す。費用（スポンサー）確保へ自ら動いていくので、応援いただきたい。
- ▶派遣トレーナーが活動中にアキレス腱を断裂した。現在、労災等の取り決めがない為、トレーナーやデモンストレーションを行う若手コーチの保険（補償）に関して今後検討いただき、若いメンバーが入りやすい環境づくりをお願いしたい。

8) アンダーカテゴリー部会(U18) (河原部会長)

- ▶トップリーグ終了、八王子学園八王子が第 6 位となった次年度よりトップリーグ・ブロックリーグの接続が開始、トップリーグ下位 4 チームが入替戦となる。
- ▶ブロックリーグは男子はサンロッカーズ渋谷が 2 試合を残し現在第 5 位、國學院大學久我山 8 位確定、女子は東京成徳、八雲学園ともに 1 試合を残し現在第 1 位、八王子学園八王子が現在第 1 位だが他チームの結果待ちであるが、3 チームともにトップリーグ入替戦の可能性はある。
- ▶トップリーグ参入戦が 3 月 14 日、15 日に東洋大学赤羽台キャンパスで実施。
- ▶東京都リーグは男子 12 月 21 日、女子 2 月 7 日に最終戦を予定。ブロックリーグ・東京都の接続について、今年度より女子を含めた実施が検討されている。

9) アンダーカテゴリー部会(U15) (青柳部会長) 【資料 10】

- ▶資料に基づき、U15 選手権結果について報告があった。決勝は男子立川ダイス、女子羽田ヴィッキーズの前座試合として実施した。
- ▶12 月 6 日より東京都 U14 リーグ戦を実施。
- ▶今年度も Jr.ウィンターカップへ東京都 U15 部会が運営協力を行う。

第 3 号報告 各連盟報告

1) 社会人 (島田理事) 【資料 12】

- ▶資料に基づき、大会結果および次年度の SBL-SB1、SB2 ライセンス申請、オールスター戦について報告があった。

2) 高校男子 (武井理事) 【資料 13】

- ▶資料に基づき、SNS におけるライブ配信に関して、他連盟の取り扱い含めアドバイス等意見伺いがあった。
- ▷林 他競技では許可した以外の撮影は禁止としている例、また、相手チームには肖像権があり、侵害した場合は損害賠償の対象となることを警告しておくことが一般論としてある。主催者として予め配信に対する警告しておくことは一つの方法として挙げられる。
- ▷依川 ライブ配信等、限定したものを撮影禁止は整合性がとれなくなる。主催者側がすべての動画撮影禁止とうたった方が良い。以前に JBA 荒牧氏の研修会でもあったように禁止にしても守らない人は出てくるが、運営側が監視する事もナンセンスであり、運営側で予防線を張ることが大事である。

▷橋本 JBA へ繋ぎ確認ができるように手配する。

▷川村 本件について都協会主催大会でも適用となるか。

▷橋本 JBA と確認のうえで判断する。

3) 高校女子 (福嶋理事) 【資料 14】

▶資料に基づき、総体、ウィンターカップ都予選結果について報告があった。

▶次年度大会参加費の値上げの決断をした。値上げに関しては高体連男子と連携し、金額設定等決定した。

▶体育館ギャラリーに関する注意喚起を行った。現在、東京都では高校女子バスケットボールのみ発信している状況であり、今後の参考となるよう、また、ご意見をいただけるよう報告する。

昨今、ギャラリー使用時に落下物により怪我をした事案が複数発生した為、原則禁止とすることとした。

4) 中学 (中村理事) 【資料 17】

▶資料に基づき、総体、関東大会、全国大会結果について報告があった。

5) 専門学校 (市川理事)

▶11 月 5 日に秋季大会が終了した。

▶2 年に 1 度実施の全国選抜大会が新潟県で開催され、東京都より 15 名を選抜し出場した。

6) ID (小幡理事) 【資料 15】

▶全国障害者スポーツ大会に出場し、男女ともに東京都が優勝した。

▶Virtus World Basketball Championships に東京都より 1 名、日本代表キャプテンとして出場し、初めての銅メダル獲得に貢献した。

第 3 報告後に針生専務理事より、東京都スポーツ協会が次年度理事改選に伴い、若手女性理事推薦につき打診され、会長相談のうえ、推薦者を選出した。選考されたあかつきには改めてご報告する旨説明があった。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、午後 20 時 00 分閉会を宣言した。以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、出席した代表理事がこれに署名捺印する。